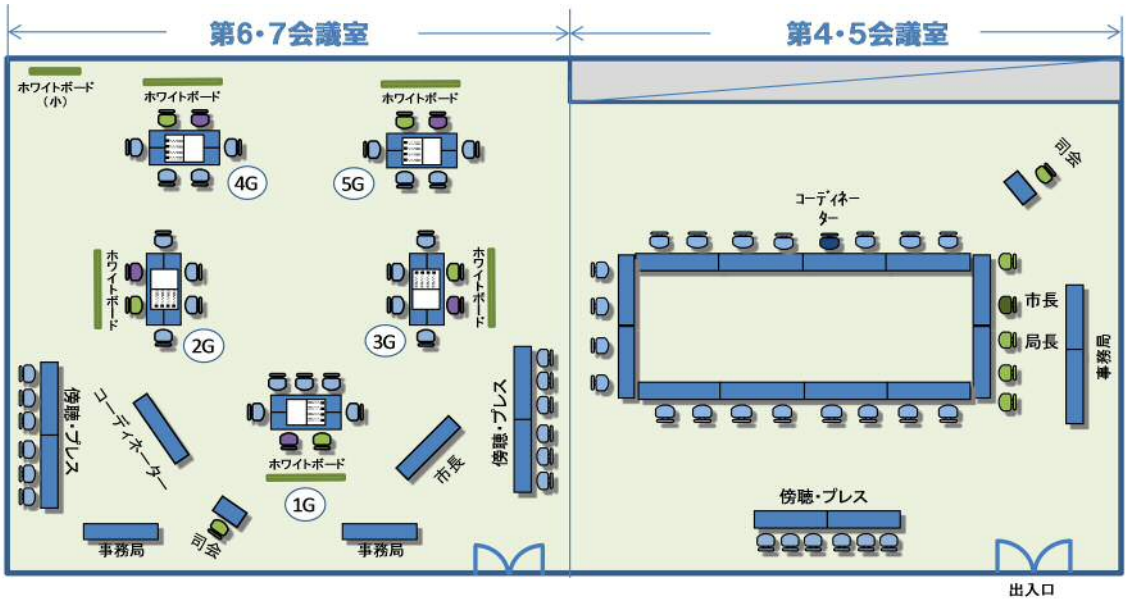
資料７

川崎市総合計画市民検討会議第４回全体会
グループワークの進め方

【レイアウト】（市役所　第４庁舎）



【メンバー】（敬称略）

ｸﾞﾙｰﾌﾟ	氏　名	在住区	スタッフ
1 社会福祉	カタヤマ　トシアキ 片山　利昭	高津区	（市職員） 箱島 （補助） 大垣
	コイケ　トモコ 小池　朋子	多摩区	
	シンドミ　ユキト 新冨　征人	幸区	
	ノチ モト　ナオコ 後本　直子	多摩区	
	ヤマシタ　ヒロコ 山下　博子	多摩区	
2 子育て・教育	オギハラ　ススム 荻原　進	川崎区	（市職員） 田中 （補助） 西尾
	カトウ　コウショウ 加藤　浩照	宮前区	
	ナガノ　トシユキ 長野　敏幸	宮前区	
	マツモト　レイコ 松本　玲子	中原区	
3 防災・ コミュニティ	アオヤギ　ショウジ 青柳　昇二	幸区	（市職員） 久万 （補助） 山本
	イイダ　マコト 飯田　眞	高津区	
	カトウ　ヒデオ 加藤　英雄	幸区	
	カトウ　ミオ 加藤　美於	麻生区	
4 暮らし・交通	カワシマ　コウイチ 川島　弘一	中原区	（市職員） 宮崎 （補助） 大塚
	コヤマ　リョウ 小山　了	川崎区	
	ハセガワ　ヒデコ 長谷川　秀子	高津区	
	ババ　ナオコ 馬場　直子	中原区	
5 文化・スポーツ ・都市イメージ	オカダ　ヨシカズ 岡田　義一	高津区	（市職員） 阿部 （補助） 花輪
	ツジ　マリコ 辻　麻里子	宮前区	
	トヤマ　ルミ 外山　瑠美	川崎区	
	ヤマシタ　チヒロ 山下　千裕	麻生区	

【グループワークの進め方】

○ グループワーク（10:50～11:45　計 55 分）

■ 進め方の説明（10:50～10:52　計 2 分）

事務局より、グループワークの進め方について説明します。

【グループワークの目的】

総合計画への掲載を予定している「みんなで取り組もう 私たちができること ～市民から市民へのメッセージ～（案）」の内容について議論しメッセージ案をまとめます。

【グループワークのルール】

① 市民に行動を促すメッセージ案であること（行動主体が市民であること）
② 新たなメッセージ案を追加する場合は、これまでの会議での議論・まとめの内容の範囲内でメッセージ案を作成すること
③ メッセージ案がテーマから逸脱していないこと

【３つのチェックポイント】

加筆・修正のチェックポイントは以下の通りです。

□ 会議での議論・まとめと趣旨が異なっていないか。
□ 会議での議論・まとめの重要なキーワードが抜けていないか。
□ もっと伝わりやすい、わかりやすい表現にできないか。

【進め方】

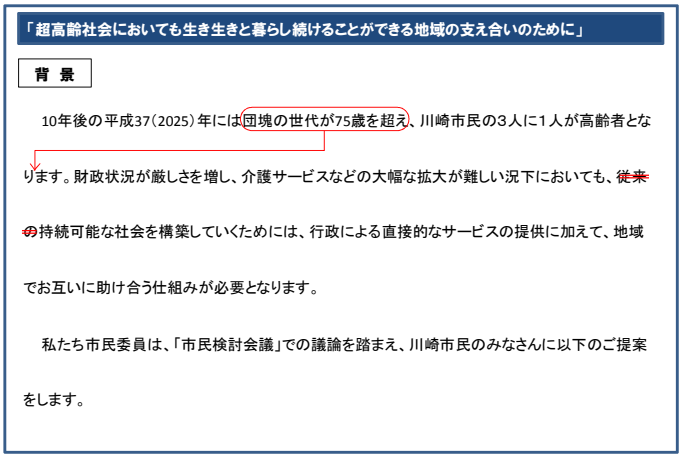
・５つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて議論します。

＜１Ｇ＞社会福祉	＜４Ｇ＞暮らし・交通
＜２Ｇ＞子育て・教育	＜５Ｇ＞文化・スポーツ・都市イメージ
＜３Ｇ＞防災・コミュニティ	

・各グループで、委員の中から、①リーダー（進行役）、②発表者を決め、**リーダーの進行でグループワークを進めてください**。
・事務局が作成したメッセージ案のたたき台をもとに、**グループで議論をしながら加筆・修正**してください。
・各グループのテーブルに、各テーマの「背景」が書かれたＡ２用紙と、「メッセージ」が書かれた模造紙が配置してあります。模造紙の左半分には、事務局が作成したメッセージ案のたたき台が書かれています。右半分は白紙になっており、キーワードの書き出しなど、自由に使うスペースになっています。このＡ２用紙と模造紙にマーカーで直接書き込んだり、付箋を貼ったりして、修正作業を行います。
・文案の清書・発表用に、各グループに１台ずつホワイトボードを配置してあります。ホワイトボードには、事務局が作成したメッセージ案のたたき台が書かれていますので、それをもとに適宜修正をして清書してください。

＜各テーブルに配置＞

〇Ａ２用紙（背景）（作業用シートとしてＡ３版を各メンバーに配布）



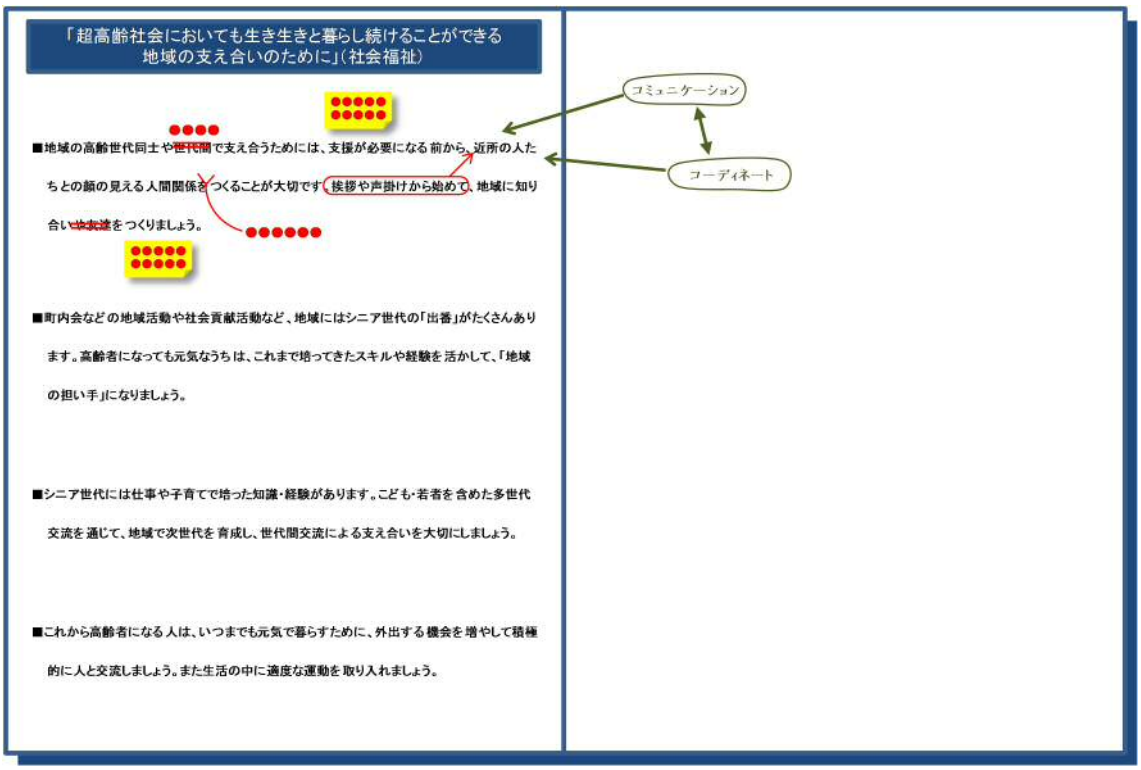
「超高齢社会においても生き生きと暮らし続けることができる地域の支え合いのために」

背 景

10年後の平成37(2025)年には団塊の世代が75歳を超え、川崎市民の3人に1人が高齢者となります。財政状況が厳しさを増し、介護サービスなどの大幅な拡大が難しい況下においても、~~従来の~~持続可能な社会を構築していくためには、行政による直接的なサービスの提供に加えて、地域でお互いに助け合う仕組みが必要となります。

私たち市民委員は、「市民検討会議」での議論を踏まえ、川崎市民のみなさんに以下のご提案をします。

〇模造紙（メッセージ）（作業用シートとしてＡ３版を各メンバーに配布）



【３つのチェックポイント】

□ 会議での議論・まとめと趣旨が異なっていないか。

□ 会議での議論・まとめの重要なキーワードが抜けていないか。

□ もっと伝わりやすい、わかりやすい表現にできないか。

■ メッセージ案の検討（10:52～11:42　計 50 分）

以下のような流れを参考に、リーダーの進行によりグループワークを行います。

① リーダー、発表者を決定　2 分

② 「背景」（Ａ２用紙）について、全員で確認。　3 分

- 修正・追加があれば、Ａ２用紙に直接書き込んでもらいます。

③ 「メッセージ」（模造紙）について、「３つのチェックポイント」に沿って、各自、修正案・追加案を検討　2 分

- 修正案・追加案は、各自、机上に配布された付箋か作業用シート（模造紙を縮小コピーしたもの）にメモしておきます。

④ ２分経過したら、**リーダー**は、メッセージの追加案の有無を確認　3 分

- 追加案がある場合は、提案者に、付箋を模造紙に貼るか、模造紙に直接書き込んでもらいます。

⑤ **リーダー**の進行で、メッセージ案の修正の有無について意見交換　37 分

- **リーダー**は各メッセージ案（追加案を含む）について、意見交換の時間配分を決めます。（メッセージ案が４つある場合は、それぞれ概ね 10 分とするなど）
- メッセージの修正について意見を言う人は、付箋を模造紙に貼るか、模造紙に直接書き込むことにより、具体的な修正案を発表します。
- **リーダー**は、発表された修正案に対し、「３つのチェックポイント」に基づいて他の委員から意見を求めます。
- 修正案がまとまったら、次のメッセージ案の意見交換に移ります。

⑥ 各メッセージ案の修正案がまとまったら、ホワイトボードに清書　3 分

- スタッフが清書します。

※ 困ったときには、各グループに職員と補助スタッフを１名ずつ配置していますので、相談してください。

■ 発表の確認と有識者会議への出席者の決定（11:42～11:45　計 3 分）

- **発表者**を中心に、成果発表の準備・確認をしてください。発表は、１グループ２分と限られていますので、**たたき台からの変更点とその理由**を中心に発表するようにしてください。
- また、６月 12 日（金）に開催予定の第５回有識者会議に出席して、グループワークでまとめたメッセージ案を発表し、有識者会議の委員と意見交換をするメンバーを、各グループから１名選出してください。

○ **成果発表・まとめ**（11:45～12:20　計 35 分）

各グループの成果発表（発表 10 分（2 分×5 グループ）・質疑応答 15 分）

・ グループごとに、委員の代表者に、グループワークの成果（たたき台からの変更点とその理由）を発表していただき、質疑応答を行います。

コーディネーターによるまとめ（5 分）

・ コーディネーターより、まとめのコメントをいただきます。

出石副座長から講評（5 分）

・ 有識者会議副座長の出石教授より、講評をいただきます。

（以　上）